



第 13 回
外国語教育の^{あす}未来を拓く
～平和の心をはぐくむ複言語教育～

【午前の部】

◆分科会◆

研究発表 複言語・多言語教育の取り組み

【午後の部】

◆基調講演◆

「生きるための言語 –多元主義と複言語主義から言語教育＝言語学習を照らす–」
野間 秀樹 (元東京外国語大学大学院教授)

◆事業報告◆

「文科省事業成果報告会－授業づくりのための支援ツール：教材と単元指導案様式」

◆次世代の報告◆

「多様な外国語を学ぶ高校生の声」
#〇〇語好きと繋がりたい #2025

日 時：2025年3月9日(日) 10:00～17:15

会 場：上智大学四谷キャンパス 6号館

<https://dept.sophia.ac.jp/is/solific/>

午前中分科会のみハイフレックス（Zoom）で実施



主 催：一般社団法人日本外国語教育推進機構 (JACTFL)
上智大学国際言語情報研究所 (SOLIFIC)



❧ 実施概要

開催趣旨：

本シンポジウムは、さまざまな外国語教育の関係者が一堂に会し、日本の外国語教育の未来を拓くための具体策を練り、それを実現するための機会としています。2013年の第1回シンポジウムから「外国語教育の未来を拓く」という共通テーマを掲げ、JACTFLとSOLFICが主催組織として、毎年3月に上智大学で継続的に行ってきました。

本シンポジウムにおいて、私たちは、日本における多言語・複言語教育の未来を拓くための具体策を練り、意見交換する場を提供するとともに、多言語・複言語教育を推進していくために、小中高大の外国語教育者・研究者や外国語教育施策に関わるステークホルダーらがそれぞれの研究知や実践知を発信する機会をつくってきました。

JACTFLは、これまで日本の外国語教育施策に係る文部科学省や東京都教育庁などの上層部に対して、日本社会において多様な外国語教育を推進するための建設的な提案を組織的に粘り強く行ってきました。またJACTFLは、10年以上に及ぶ地道な活動によって、長く続いた言語種と教育段階の厚い壁を打ち破り、あらゆる言語種、あらゆる教育段階、あらゆる言語形態などを直接つなげました。その結果、異なる背景を持つ関係者同士がアイデアを出し合い協働するという、従来存在しなかった外国語教育者間のネットワークの構築を実現しました。

今回の第13回シンポジウムは、「平和の心をはぐくむ複言語教育」を副題とし、これからの10年、20年を見据え、日本社会が切り拓いていく外国語教育の未来、ひいては日本と世界が共創する外国語教育の未来を考える機会にしたいと思います。

❧ 実施体制

特別協力：一般財団法人日本私学教育研究所、公益財団法人国際文化フォーラム

後援：文部科学省、外務省、東京都教育委員会

参加者：幼小中高大の外国語教育・国際理解教育・異文化間コミュニケーション等の教育関係者、教育行政機関関係者、学校の管理職、企業関係者ほか200-300名

参加費用：JACTFL会員/無料、一般/1000円（会場整理費）

プログラム

9:30～ 受付開始

【第1部】 対面及びオンライン（Zoom）で実施 410、409、408 教室

Zoom URL：事前にメールにて参加者に通知します

◇10:00～12:00

研究発表「複言語・多言語教育の取り組み」

◆分科会1（小・中・高・大学の部） 司会進行：野澤 督（大東文化大学）

10:00～ 言語への目覚めの出前授業の成果と課題—学習者の言語態度中心に—
クロス ルベン ※オンライン発表

10:30～ 大規模小学校での複言語学習—課題解決に向けた取り組み—
岩居 弘樹（大阪大学）
大前 智美（大阪大学）

11:00～ 英語以外の外国語科目の推移は都道府県でどう異なるのか—5 県の公立高等学校の事例を通して—
岩崎 和彦（長崎大学多文化社会学研究科博士後期課程）

11:30～ 2025 年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）を探究する—外国語学部英語学科の3 年次ゼミナールにおける試み—
神谷 善弘（大阪学院大学）

◆分科会2（高校の部） 司会進行：能登 慶和（獨協医科大学）

10:00～ 高等学校における教養としての第二外国語教育
滝口 秀人（自由ヶ丘学園高等学校）

10:30～ SFC における高大接続のスペイン語教育—多言語多文化社会構築に向けて—
—高等部における CEFR 準拠の教科書を使用した実践例—
小倉 麻由子（昭和女子大学）
高畠 理恵（慶應義塾大学）

11:00～ 映画を用いた外国語授業—高等学校ドイツ語授業における使用可能性を探る—
小池 駿（高等学校非常勤講師）

11:30～ 日韓高校生交流の現状と課題 —広島県立海田高等学校の姉妹校交流を中心に—
新長 太（広島県立海田高等学校）

◆分科会3 (大学の部) 司会進行：大森 洋子 (明治学院大学)

10:00～ 複層的文化理解を目指した教育実践—中・韓両言語連携プロジェクト紹介

西 香織 (明治学院大学)

阪堂 千津子 (武蔵大学)

10:30～ メタバースと VR を活用して学習者と共創する中国語学習環境のデザイン

杉江 聡子 (北海学園大学) ※オンライン発表

11:00～ オンライン国際協働学習を通じた複言語・複文化教育の実践と学習効果の分析

金 銀珠 (北海道情報大学)

サイモン ソーラ (北海道情報大学)

広奥 暢 (北海道情報大学)

11:30～ 言語権の重要性を考察するための題材—多文化クラスにおける試み—

山田 悦子 (北海道大学)

◇休憩 12:00～13:00

【第2部】対面のみで実施 410 教室

◇13:00～13:20

開会・挨拶

山崎 吉朗 (JACTFL 理事長)

永井 敦子 (上智大学 学生総務担当副学長)

田井 祐子 (文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 外国語教育推進室長)

司会進行：郷司 雅子 (埼玉県立坂戸高等学校)

◇13:20～14:50

基調講演 野間 秀樹 (元東京外国語大学大学院教授)

「生きるための言語 – 多元主義と複言語主義から言語教育 = 言語学習を照らす –」

講演者紹介、司会進行：北川 郁子 (一般財団法人日本エスペラント協会理事長)

私たちは生まれ落ちたときから、ことばのただ中に生きている。今日の言語のありようは、まさにことばのパンデミックとも言えるほどの、押し寄せることばに満ち溢れている。他方ではことばによる疎外や抑圧が絶えない。言語教育 = 言語学習は、〈言語はいかに在るか〉という根底的な問いから出発し、言語の原理論的な共生性を踏まえ、〈生きるための言語〉、〈共に生きるための言語〉を目指すことが求められている。大らかにして柔軟な多元主義、複言語主義から、母語と非母語を視野に入れた言語教育 = 言語学習のありかたを、多様な角度から照らし返す。

【第3部】対面のみで実施 410 教室

◇15:00～15:50

事業報告

「文科省事業成果報告会－授業づくりのための支援ツール：教材と単元指導案様式」

司会進行：能登 慶和（獨協医科大学）

山崎 吉朗（JACTFL 理事長）

水口 景子（公益財団法人国際文化フォーラム）

野澤 督（大東文化大学）

菅沼 浩子（アサンプション国際高等学校）

松川 雄哉（早稲田大学）

山下 誠（神奈川県立麻生総合高等学校）

山下 一夫（慶應義塾大学）

本報告会では、外国語教育に関する文部科学省委託事業を受けている名古屋外国語大学・大東文化大学と慶應義塾大学の研究プロジェクトの成果を報告する。

平成 29 年度に「外国語教育強化地域拠点事業」（以後、「グローバル化に対応した外国語教育推進事業」、「グローバル化に対応した多様な外国語教育推進事業」）が開始されて以来、この二つの研究チームは令和 6 年度まで継続して事業を受託し、日本の中等教育における英語以外の外国語教育の改善・充実を目指して拠点校となる複数の高等学校とともに研究プロジェクトを進めてきた。

今回は、名古屋外国語大学・大東文化大学はフランス語教材を、慶應義塾大学は単元指導案様式をそれぞれ紹介し、授業づくりに活用可能な具体的な成果物を会場の皆様と共有する。また、こうした事業活動の成果は、これからの日本の中等教育における外国語教育を推進する上でも重要な役割を果たすことを示したい。

【第4部】対面のみで実施 410 教室

◇15:55~17:10

次世代の報告「多様な外国語を学ぶ高校生の声」#〇〇語好きと繋がりたい #2025

司会進行：蛸原帆奈海（関東国際高等学校）、富山真裕美（平塚湘風高等学校）

◆主旨説明 黒澤 真爾（関東国際高等学校）

JACTFLは設立当初より、中等教育、特に高校における多様な外国語教育の普及・推進を活動目的としてきた。その間、主に教育制度の問題に焦点を当て、会員の様々な研究を紹介してきたが、直接、学習者である高校生の意見や要望に耳を傾ける機会は乏しかったと言える。

そこで、前回のシンポジウムで初めて会場で高校生の声を直接聞く機会を設け、フランス語、ドイツ語、ロシア語、スペイン語、中国語、韓国語を学ぶ高校生たちに、同じ年代の高校生に向けたメッセージを伝えてもらった。今年も昨年に引き続き、多様な外国語を学ぶ高校生の声をお届けしたい。

英語以外の言語を自ら選択して学んでいる高校生の率直な声は、今後の JACTFL の活動のみならず外国語教育の在り方に大きなヒントを与えてくれるであろう。

今年は、フランス語、ドイツ語、中国語、スペイン語、アラビア語を自ら選択し学ぶ高校生が発表する予定だ。是非、彼らのさまざまな思いに対して、外国語教育に携わる方々に耳を傾けていただきたい。そして、高校生とともに、今後のわが国の外国語教育の在り方について考えていきたい。

◆発表

フランス語	東京都立北園高等学校 白百合学園高等学校 自由ヶ丘学園高等学校 神奈川県立横浜国際高等学校
ドイツ語	獨協中学・高等学校 獨協埼玉高等学校 自由ヶ丘学園高等学校
中国語	横浜市立みなと総合高等学校 自由ヶ丘学園高等学校 神奈川県立横浜国際高等学校
スペイン語	東京都立小平高等学校 埼玉県立坂戸高等学校 東京都立松が谷高等学校 神奈川県立横浜国際高等学校
アラビア語	神奈川県立横浜国際高等学校

◆卒業生からのエール（慶應義塾大学 巴山未麗）

☞ 応援協賛

株式会社グローバルエイト

株式会社ガクサポ

◇17:10~17:15

閉会・挨拶 山崎 吉朗 (JACTFL 理事長)

司会進行: 郷司 雅子 (埼玉県立坂戸高等学校)